

2020年 教育カウンセリング公開講演会
〈オンラインによるライブ講演〉
参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

「学級担任が行ういじめ防止対策と心のケアのあり方」

講師： 荻間澤 勇人 会津大学 文化研究センター 教授
秋田県教育カウンセラー協会 代表

◇公開講演会の内容について

📖 「Q－Uで管理型のクラスでは、いじめがない」といったお話がありましたが、裏を返すと管理のない所ではいじめは起こりうるといったことだと思います。やはり、究極的な予防策は子どもの心を育てることなのだと思います。

📖 普段、勉強をあまりしていないので、たいへん貴重な時間となりました。特に発生後の対応の仕方や、再契約法などが参考になりました。教職員で共有して日々の活動に生かしていきたいと思います。

📖 いじめの定義について再確認できました。また、社会・集団の影響力について傍観者効果、個人ではなしえない集団での過った判断など社会心理学の側面から、いじめという現象をとらえ直して対応していくことも興味深いものでした。

いじめ終息の定義、再契約法など学び直しができました。再契約法のタイミングについて藤谷先生の質問、ナイスでした。私も聞きたかったのです。

荻間澤先生のお話は、具体的で分かりやすく、ストンと腑に落ちるものでした。ありがとうございました。

◆参考◆ 再契約法について掲載された書籍や論文

河村茂雄，2000：学級崩壊予防・回復マニュアル，図書文化

藤村一夫，2003：担任が主となる対応④ 再契約法，育てるカウンセリングによる教室課題対応全書2 学級クライシス，図書文化

荻間澤勇人，2012：学級集団に対するいじめ解消を目指した援助事例－再契約法による介入を中心にして，学級経営心理学研究，1, 59-69

📖 いじめに特化した内容で、有意義でした。

法律的なことは現場で説明を受けたり、目を通したりしているはずですが、意外にその変遷や背景などが分かっておらず、その点も有意義でした。

特に、いじめ発生後の対応と指導は教育実践上、どの教員もどの学校も知っておかなければいけないことですが、十分に周知されていないように思います。これらがスタンダードになることを願う反面、こんなことがいらない教育現場だといいますが・・・。

荻間澤先生，お忙しい中，貴重なお話，ありがとうございました。

また，疑問，質問にすぐ答えてくださり，ありがとうございました。

📖 いじめは組織で動くことや未然防止が大切なことがわかりました。

いじめが起きた後の動き方や心のケアも具体的にわかってよかったです。

📖 本日は研修会の開催、ありがとうございました。退職して半年、久々に頭を使ってお話を聞いた気がします。現場を離れたので目の前の子供達を思い浮かべて・・・はないのですが、「あのとき、こうだったな、ああだったな・・・」過去に思いを巡らせて講習に参加してました。今日の「いじめの許容空間」という説明を聞きながら思い出したのは、昨年知的障害のA子を担任していて、宿泊学習の役割を決めているときのこと。A子が副リーダーに立候補したあと、交流学級のB子に「A子ちゃん（私が担任をしている子）が副リーダーになってもいいんですか？」私「どうしてそう思うの？」A子「だって、先生がA子ちゃんに副リーダー以外の仕事を選んでね、って言ってたから・・・」と言われ、私自身の接し方が子ども達の「見方」に影響を与えた事を感じ反省しました。子ども集団の意識だけでなく、取り巻く大人の意識が「いじめの許容空間」を作ることには大いにあります。だからこそ、教師は勿論ですが保護者も巻き込み、学級集団、学校集団の意識を健全に保つことが大事なんだと改めて思いました。また、いじめ対応に関しては、組織で支え合うことはわかっていますが事があると「まず、すぐ保護者を呼んで話をしなさい」とか「保護者に謝ってこい」とかそんな管理職に辟易した事も思い出されて・・・。教職員がよりよい対応をしていくためには正しいリーダーシップが必要、研修は組織全体でしっかり積み上げなければなりませんね。その意味でも今日の研修は有意義でした。ありがとうございました。

📖 初めてのオンライン講演会に参加させていただきました。不慣れなのでまず準備の段階から人の手を借りて参加することができました。何事も経験ですね。

今回の内容では、いじめの定義のとらえ方が一つでないことについて納得できました。ほかに、適応指導教室に通う生徒本人がいじめと感じ、学校側が自分の気持ちを理解してもらえないことからこじれたケースのことを思い浮かべながら話を聞くことができました。学級経営の教室経営に即生させる内容だったと思います。具体例として多くのことが話題になっていたのもよかったと思います。

- 📖 ・ いじめ問題は学校の喫緊の課題です。現在はSNSで内在化しており、発見するためにアンケートを毎月のように実施するなど常にアンテナを高く張っている状況です。講演会では、いじめについて、社会学、心理学など多面的な見地から原因や対応を教えていただき、実践してきたことの根拠やこれからの対応の方策がよく分かりました。
- ・ 荻間澤先生のお話はいじめ問題に限らず、教育に関わる全ての問題に私たちがどう対峙していくかが明確に示されていました。一人の人間を育てる覚悟と深い愛情、周囲の大人が愛情を注いで子供たちを育てていくのだという姿勢に感銘を受けました。
 - ・ 「いじめ加害者の誤った学習」「傍観的被害者」「いじめられる側の攻撃誘発性」は、教師が気が付いていても共通の話題にしにくいことから、今まで深く取り上げることができなかった課題です。被害者・加害者を生み出す以前の「いじめの許容空間」に対する対処と同時に、いじめが起こってしまった時に、二度と繰り返さないための指導のポイントであると強く感じました。

📖 テーマが「いじめ防止対策」「心のケア」、そして Zoom での研修会は大変有意義でした。配布資料は詳細であり、これまでの経緯等も含まれていること等、大変参考になりました。

文科省の定義と、時代背景の変容がどのように合致していくのかなども考えさせられました。各分野からのアプローチ、多角的ないじめの構図、そして将来に渡る悪影響は納得できる内容でした。強いて言えば、「心のケア」部分の連携などをもう少し詳細に説明いただきたかったです。

これからもあらゆる場面を捉え、学び続けていく重要性を痛感しております。

📖 荻間澤先生のいつもの笑顔で、ご自身の追究に裏づけられた講義は、わたしの空っぽの頭でも何かを再構成している時があるように思います。

- 📖 ・いじめ成立の3要因（竹川 1993）の「いじめの許容空間」が特に残りました。生活の隙間に生じる許容空間で、3つが連鎖する中でどれかに手当しながら好循環を生み出していくことが大切と改めて思いました。
- 支援を要する児童を巡る、周囲の子たちからの「作られたトラブル」を見聞きしました。時間がかかっても心を育てることが予防策になると思いますが、時間は待ってくれないので、効果的に対応できたと思います。
- ・各学校で決めている、いじめ防止対策 マニュアルの査読、徹底をする必要を改めて感じています。

🔍 講演会全般（実施時期、運営等）について

📖 事前から丁寧なご案内は、さすが阿部先生と思えました。不慣れといいながらもとてもよい研修会になったかと思えます。今日は少人数でしたが、ブレイクアウトセッションが使えるとよいなと思えました。

📖 このような時期に Zoom でやっていただき、ありがたかったです。

曜日としては日曜日以外だと他の職員も参加する可能性が高まるかと思えます。

📖 講演する先生と双方向のやりとりができる点がとてもよいと思えました。

音声が届かずご迷惑をおかけしました。チャットも送信ボタンが見つからず、妙なテキストデータをお送りしてご迷惑をおかけしました。すみませんでした。

📖 よいと思います。2学期が始まって約1ヶ月なので、今後役に立てられます。

阿部先生、たくさんの準備大変だったこととお察し致します。無事に研修会が行われて本当によかったです。お疲れ様でした。

📖 資料が直前まで届かなかったのが不安になりましたが、前日に届いてよかったです。

音量を結構大きくしないと聞き取れないところがありました。音量を50くらいにしていれば問題なく聞き取れました。

本の資料を提示していた場面では、目が悪いのでよく見えなかったのですが、次回は本の内容も大画面で提示するか資料に載せていただけたらありがたいです。

昨日は山形のオンライン研修に初めて参加してようやく使い方がわかりました。様々、大変お世話になりました。

📖 初めてのオンライン研修でドキドキしましたが、いろいろご配慮いただいて参加できてよかったです。自宅のパソコン環境（パソコン本体でなく、うちの中の状態・・・）が不適切なので、ずっと集中できなかったのですが、それでも貴重なお話を伺えるのはありがたかったです。

📖 これからは、このような形の実施が大変助かります。今日は、初めてのオンライン講演ですべてが新しくワクワクしながら参加させていただきました。

山形県の方たちは大変慣れている様子でそれもまた驚きでした。

- 📖 ・コロナ禍の中でもできる範囲と方法で講演会を実施していただき、感謝致します。
- ・学校現場がちょうど落ち着き始めた時期で、実施時期は適切でした。
- ・初めてのZOOM会議に参加してのオンライン研修でしたが、スムーズに参加できました。事前に阿部先生がURLと資料を送信してくださり、当日はURLをクリックするだ

けで参加できました。事前準備をありがとうございました。荏間澤先生と参加者の皆さんのお顔も拝見できて、安心しました。荏間澤先生の時間の配慮もありがたかったです。参加させていただき、ありがとうございました。充実した講演会でした。

📖 Zoom 研修の中でもグループワークを取り入れることで、さらに情報共有や意見交換等も可能になるのではないのでしょうか。ご検討、よろしくお願いいたします。

- 📖 ・中心になってくださっている阿部先生の雰囲気が柔らかくて安心していられました。居心地が良かったです。
- ・講義がすぐに始まりましたが、ZOOM 研修会でも通常の研修会のように次第を司会者で進めた方がいいと思いました。そうすれば最初に確認できる時間がとれると思います。例えば、パソコンの関係で表示名と実名が異なることをチャットで伝えてくださった参加者がいました。マイク ON や名前、名前変更を最初に確認したいと思います。オンライン会議黎明期なので、試行錯誤しながら慣れていけたらと思います。
 - ・今年は秋田研修会が流れてしまい残念に思っていたので、秋田県の皆さまとご一緒できてとても嬉しかったです。これからも入らせて下さい。よろしくお願いいたします。

◇今後受講したい講演会・研修会の内容や講師について

- 📖 ・愛着の問題を抱えていそうな子どもたちへの対応
- ・ゲームやネット依存傾向の子どもたちの登校支援

📖 ・レジリエンスについて

- ・理想の自分と現実の自分とのギャップへの対応、心のもちかた
- ・自律した学習者の育成について：理論と実践

コロナ禍の中で、露呈してきた諸問題への解決には、以上の3点が必要かと考えています。

📖 今後増加すると見込まれる、学校現場におけるタブレット使用の授業について、多角的に学びたいと感じております。

📖 オンライン事業を考えると、秋田県内向けには渡部泰弘先生（秋田県立医療療育センター小児科・メンタルヘルス外来 医師）、佐藤さゆ里先生（横手市不登校適応指導「南かがやき教室」教育相談員）などのお話はどうでしょう。知名度ありで集客力がありそうです。県内3地区の不登校通級教室の先生方の話もありですね。

秋田市に行くのは大変、でもズームなら参加したいと思う先生はいると思うのですが…。

📖 インクルーシブ、愛着障害、合理的配慮 等々知りたいことがたくさんです。

📖 個人としても学校としてもカウンセリングの姿勢は大事なテーマですので、様々な内容をやっていただけると有り難いです。



📖 秋田の教育カウンセラー協会は、魅力的な講師をいつも招待して下さるので、おまかせします。
山形もがんばります。

📖 山形での研修でいろいろ学べるので、また都合がつく時に参加させていただけたらと思います。

📖 いつもお任せで申し訳ありませんが、時間が許せば参加したいと思いますので、今後よろしくお願いします。

—— 公開講演会に参加された皆様、アンケートへのご協力をありがとうございました。
協会としては初めてのオンラインでの開催となりましたが、講師の荻間澤勇人先生のおかげで、インタラクティブな研修会を行うことができました。
秋田県教育カウンセラー協会では、皆様方のご期待にお応えできるよう、さらに努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

